



大磯小学校 学校だより

令和7年3月25日

【学校目標】 おだやかに 自ら学び 共に育つ

校長 成田 麻紀



長いようで、あっという間に一年を終える日を迎えました。

4月に比べて、お子様一人一人が成長をしていることと思います。特に一年生は、「新一年生を迎える会」で、園児さんを迎え、校内を案内したり、ランドセルを背負わせてあげたり、座席に座らせてあげたりする姿は、もうすっかり立派なお兄さん、お姉さんでした。次年度が楽しみです。

「6年生を送る会」では、各学年・学級でたくさん練習をし、6年生に感謝の気持ちを伝えました。それに応える6年生からのサプライズには、大歓声が上がっていました。素敵な交流ができました。



それより前にあったのがウインターコンサートですが、複数日程で行われましたが、足を運べたのは最終日。学習室の皆さんの「テキーラ」の演奏と、1年2組の「パプリカ」、そして杉田先生と白井先生による「情熱大陸」の演奏でした。たくさんの観客が、温手拍子や拍手をしていて、温かな雰囲気コンサートでした。1年生の児童が、「杉田先生みたいに演奏できるようになる!!」と私に宣言していったのも印象的です。



先週は、学校として最大の行事である、卒業式が行われました。6年生の一人一人が、たくさんの保護者や在校生代表の5年生に見守られる中、とても緊張しながら卒業証書を受け取り、巣立っていきました。6年生と5年生の応酬となる「別れのこぼれ」も、お互いに立派なものでした。在校生代表として参加した5年生の皆さんは、長時間静かに座っていることも大変だったと思います。立派な態度で臨んだ皆さんからは、いよいよ最上級生なんだという頼もしさを感じました。



最後の「旅立ちの歌」も素晴らしく、聴いていて胸が熱くなりました。卒業した6年生の皆さんが、中学校でも失敗を恐れずに、たくさんのごことに挑戦していくことを願っています。

昨日、出張から戻ってくると、校庭では3年生がドッジボールをしていました。しかし何か違うな…と思ったら、一列に向かい合って並び、投げ合っています。新たな遊びができたのかと思ったら、なんとボールを投げる、受けることの苦手な人のために、練習を一緒にしているのだと聞いて驚きました。しかも、先生から言われてではなく、自分たちで始めたのだと担任の先生から説明を受けて再び驚きました。年度末最後に遊べる時間に、他者のことを思って行動できる心が育っていることを、とても嬉しく思いました。来年度も、そんな児童たちの素敵な姿がたくさん見られることを期待しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、この一年間、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。次年度も引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。



先生方や支援員さんの手で装飾された入口です。より一層温かな雰囲気となりました。